

群馬県

精神障害者を 地域で支えるシステム

群馬県では、「精神障害者を地域で支えるシステムの構築」として、まず精神障害者が地域で安心して暮らしていけるよう必要な医療・福祉等による継続的な支援体制を構築に取り組んでいきます。

1 県又は政令市の基礎情報

○群馬県



取組内容

【人材育成の取り組み】

- ・ピアサポート活用事業(ピアサポーターの養成)
- ・精神障害者支援関係者向け研修
- ・相談支援体制整備事業(アドバイザー事業)
- ・相談支援従事者等研修

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- ・障害者自立支援協議会サブ協議会(退院促進支援部会)
- ・ピアサポート活用事業(ピアサポーターの派遣等)

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数 (H31年4月時点)	10	か所		
市町村数 (H31年4月時点)	35	市町村		
人口 (H31年4月時点)	1,941,195	人		
精神科病院の数 (H31年4月時点)	20	病院		
精神科病床数 (H31年4月時点)	5,080	床		
入院精神障害者数 (H29年6月時点)	合計	4,525	人	
	3か月未満 (%:構成割合)	697	人	
		15.4	%	
	3か月以上1年未満 (%:構成割合)	810	人	
		17.9	%	
1年以上 (%:構成割合)		3,018	人	
		66.7	%	
	うち65歳未満	1,357	人	
	うち65歳以上	1,661	人	
退院率 (H29年3月時点)	入院後3か月時点	64.0	%	
	入院後6か月時点	80.0	%	
	入院後1年時点	89.0	%	
相談支援事業所数 (H31年4月時点)	基幹相談支援センター数	9	か所	
	一般相談支援事業所数	46	か所	
	特定相談支援事業所数	119	か所	
保健所数 (H31年4月時点)	10	か所		
(自立支援)協議会の開催頻度 (H30年度)	(自立支援)協議会の開催頻度	2	回/年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	◎・無		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (H31年1月時点)	都道府県	◎・無	1	か所
	障害保健福祉圏域	◎・無	/	か所/障害圏域数
	市町村	◎・無	10 / 35	か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

群馬県においては、「精神障害者を地域で支えるシステムの構築」として、まず精神障害者が地域で安心して暮らしていけるよう必要な医療・福祉等による継続的な支援体制を構築する。

○措置入院者の退院後支援

- ・自治体を中心となって退院後の医療等の支援を行う必要性が特に高いと思われる措置入院者への支援

○各市町村又は圏域の協議の場設置

- ・保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置

○地域移行支援事業

ーピアサポート活用事業（ピアサポーターの養成・派遣等）

- ・ピアサポーターの養成講座（H30：修了者14名）
- ・精神科病院交流活動（H30：132回）

ー精神障害者の地域移行関係職員に対する研修に係る事業

- ・市町村、精神科病院、障害福祉サービス事業所、介護保険サービス事業所等の職員に対し、精神障害者の地域移行に関する保健・医療・福祉の相互理解を促進するための研修を実施（H30：精神障害者地域移行・地域定着支援関係者研修
精神障害者の地域移行に係る理解促進研修（施設見学））

○群馬県精神障害者地域移行支援事業運営協議会（県障害政策課）

- ・取組に係る課題や方針を検討するため、関係機関から構成される協議会を開催（H30：年2回）

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

○【H20～24】

- ・ 精神科病院入院患者実態調査
- ・ 医療機関や相談支援事業所等に地域移行推進員配置

○【H23～】

- ・ 精神障害者地域移行支援事業運営協議会（退院促進支援部会）
－精神障害者の地域移行支援事業に係る課題の検討・調整を行う。

○【H25～】

- ・ 高齢入院患者退院支援事業（～H26）
- ・ ピアサポート活用事業
－ピアサポーターの養成や精神科病院へのピアサポーター訪問、普及啓発活動を行う。

○【H26～28】

- ・ シンポジウムの開催
－精神障害に限らず、すべての障害者の地域生活を考える機運向上を図る。

○【H28～】

- ・ 精神障害者地域移行支援連携研修会
－精神障害者の地域移行に関する保健・医療・福祉の相互理解を促進するための研修を実施

○【H30～】

- ・ 措置入院者の退院後支援

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜平成30年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (H30年度当初)	実績値 (H30年度末)	具体的な成果・効果
①			
②			
③			

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

ピアサポート活用事業を全地域を対象として行っている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
医療と福祉の連携が十分ではない。	協議の場を開催し、地域ごとの課題等を検討できる体制を整える。	行政	関係者による協議の場を開催する
		医療	協議の場への参加
		福祉	協議の場への参加
		その他関係機関・住民等	協議の場への参加
		行政	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和元年度末)	見込んでいる成果・効果
①未設定			
②			
③			

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポート活用事業 (委託) ・措置入院者退院後支援 	<p>ピアサポーターの養成、精神科病院訪問、研修等</p> <p>ガイドラインを参考にした措置入院者への退院後支援の実施</p>
6月～	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の場開催準備 	<p>圏域又は市町村において協議の場を設置に係る検討</p>
8月ごろ	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修会 	<p>「精神障害者を地域で支えるシステム」構築導入研修</p>
秋ごろ	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者向け研修 ・協議の場開催 	<p>相談支援専門員を対象とした研修</p> <p>保健・医療・福祉関係者による協議の場を開催</p>
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会 	<p>事業報告</p>